

1. 科目名 (単位数)	社会福祉 (2単位)	3. 科目番号	JEGM1101 JNGM1101
2. 授業担当教員	田中 良幸		
4. 授業形態	講義・ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>この科目は、保育士資格を取得するための必修科目であり、保育士実践に不可欠の知識・技能を学習するものである。</p> <p>具体的内容としては、社会福祉の現代的意義について、歴史、対象、制度、担い手の視点からとらえる。また、社会福祉に関する理論と制度の体系を学び、相談活動の方法や技術、保育における具体的な展開方法を学ぶことを目的とする。さらに、身近な事例を紹介しながら授業を進めつつ、社会福祉の現代的意義を平易に解説し、利用者の生活課題を理解する。これらを通じて保育士として必要な社会福祉に係る知識・技術を身につける。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代における社会福祉の意義と歴史の変遷から、福祉の思想と考え方を理解する。 2. 現代の社会福祉における制度や実施体系を理解する。 3. 社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかる仕組みを理解する。 4. 利用者の生活ニーズが表出する社会的、個別的な背景を理解し、支援の際に活かせるようにする。 5. 利用者の生活ニーズに対する具体的支援方法を理解する。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業の中で課題を指定する。その時の社会状況の中で何が起きているのかに関心を向けてください。問題を正しく理解し、適切な考察を表現できるように、適宜、レポート課題を課す。		
10. 教科書・参考書・教材	特になし。適宜、関連資料を提示する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>□5つの学習目標を達成することができたか</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 課題レポート 30%</p> <p>2. 平常点 (ディスカッションや授業への積極的参加度、提出物など) 40%</p> <p>3. 期末試験 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>授業では、現代社会で何が起きているのか、なぜ、その問題が起きているのか、どのような社会の状況があるのか等について、積極的に自分の生活と関連づけ、そこから具体的に解決、改善策を発見できる力をつけることは求められています。単に困ったことがあるで終わるのではなく、その現実の課題にあなたが関与することで、どう改善解決していくかの道筋が見えるように授業を進めていくので、自主的に取り組む姿勢を大切にします。</p> <p>加点の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな内容の意見でも、自分で考えた学生の意見は尊重する。自分の意見を述べて意見交換を行える。 ・発表の機会には積極的に取り組むとともに、他の学生のサポート役を行える。 ・不明な点や納得が行かない点はそのままにせず、積極的に自分の意見表明を行い、確認できる。 		
13. オフィスアワー	研究室への来室し、内容確認や質疑応答が必要な時は歓迎しますが、在籍日時については別途、連絡します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ：現代社会における社会福祉の意義1 日本の社会の特徴 人口動向と社会福祉の概念と理念のこれまでの流れ。	事前学習	自分の生活の中で使われている「社会福祉」という言葉と「福祉」という言葉の意味を調べて、その違いをまとめておく。
		事後学習	授業の内容を復習して、社会の状況と「社会福祉」の持つ意味を確認する。
第2回	現代社会における社会福祉の意義2 保育と社会福祉 現代社会で起きている子どもを巡る様々な問題を理解する。	事前学習	社会福祉領域での「子ども」「子育て」に関する問題を自分で調べておく。
		事後学習	社会の中で子育ての問題を引き起こす「原因」を確認して説明できるようにする。
第3回	保育における社会福祉① 子どもの生活と保育 子どもの生活とは大人(親)の生活に依存している事、親の生活への介入が必要な場合と組織の役割分担	事前学習	現代社会の中で保育の意味を考えて、うまくいっていること、うまくいっていないことを整理しておく。
		事後学習	今日の社会の中で自分が保育士として大切なことを考えておく。
第4回	現代社会における社会福祉② 社会福祉の歴史の変遷 宗教の助け合い 社会制度としての支援体制	事前学習	サービスにおける「措置」と「契約」の違いを調べてまとめておく。
		事後学習	保育士の提供するサービスの社会的役割から自分が目指す保育士としてのイメージを具体的に考えてみよう。
第5回	社会福祉と児童家庭福祉① 社会福祉の一つの領域としての児童家庭福祉	事前学習	「家族」と「家庭」の井伊の違いを調べてまとめておく。
		事後学習	児童家庭福祉という言葉の意味を理解する。また、保育実践において児童家庭の福祉のた

			めに保育士は何ができるのかを考える。
第6回	社会福祉と児童家庭福祉② 児童の人権・子育て支援	事前学習	児童の持つ権利について具体例を調べてみる。
		事後学習	子どもの権利の具体的な例と自分の目指す保育の仕事との関連を確認する。
第7回	社会福祉と児童家庭福祉③ 福祉としての子育て支援と家庭への支援：今日の社会の特徴と子育てで起こっている親と子どもの問題を考える。	事前学習	ここ1か月以内の子育てに関するニュースを調べて発表できるようにしておく。
		事後学習	家庭支援、子育て支援の具体的な内容を確認して、ニュースで事件とならないような支援を考える。
第8回	社会福祉の制度と実施体系① 社会福祉の制度と法体系 社会保障及び関連制度 社会福祉行財政と実施機関	事前学習	子ども家庭福祉に関する法制度の中から関心の深いものを一つ調べてまとめて、発表できるように準備しておく。
		事後学習	児童福祉6法の内容を確認して概要を説明できるように理解しておく。
第9回	社会福祉の制度と実施体系② 社会福祉施設 社会福祉の専門職	事前学習	子ども家庭福祉に関する福祉施設を知らべて、設置目的、支援対象、具体的な支援内容を調べてくる。
		事後学習	児童福祉に関する福祉施設の概略を理解して、従事している福祉の専門職の説明ができるようにまとめておく。
第10回	社会福祉における相談援助① 相談援助の概要 相談援助の具体的展開例① 事例を検討する	事前学習	相談援助のための基本技術 バイステックの7原則を調べておく。
		事後学習	事例から支援する際に保育士として必要な要素を説明できるように求めておく。
第11回	社会福祉における相談援助② 相談援助の具体的展開例② 事例を検討する	事前学習	保育士が連携する社会福祉関連の職種の資格を調べておく。
		事後学習	保育士が働く職場で子どもの支援を行う際に、どんな資格を持つ専門的職種の人たちとの連携があるのかを説明できるようにする。
第12回	社会福祉における相談援助③ 相談援助の具体的展開例③ 虐待の事例を検討する	事前学習	児童虐待の種類と実際の事件を考える。
		事後学習	虐待事件を調べて、発見から始まる具体的な対応方法を自分で考えてみる。
第13回	社会福祉における利用者保護にかかわる仕組み 情報提供と第三者の権利擁護と苦情解決	事前学習	利用者の権利擁護に関する制度を調べておく。
		事後学習	今後、保育領域で必要となる権利擁護の具体的方法を自分で確認する。
第14回	現代社会における社会福祉政策の動向と実際の社会で起きている課題 これまでのまとめ 個別発表① 自分の持つ強みを生かして、保育者として社会福祉で学んだことをどう生かすのかを考える。	事前学習	保育領域での社会問題として何が起きているのかを調べておく。
		事後学習	保育領域で求められる社会福祉領域での対応策を理解して、自分はどの何について、どの程度まで貢献できるのかを考える。
第15回	これまでのまとめ 個別発表② 自分の持つ強みを生かして、保育者として社会福祉で学んだことをどう生かすのかを考える。 全員の発表から何を得たのかを相互にフィードバックする。	事前学習	自分の持つ強みを生かして、保育者として社会福祉で学んだことをどう生かせるのかを考えておく。
		事後学習	自分の強みを生かした仕事してどのようなことができるのかを確認する。
<p>期末試験</p> <p>全15回の講義内容から各テーマについての問題を記述式で答える。授業で作成したノートの持ち込みは可とする。</p> <p>※試験を実施しない場合→この欄の文字をすべて削除してください。(枠は教務課で削除)</p> <p>※試験を実施する場合→この欄の赤色の注意書きを削除してください。</p>			